

【情報公開文書】

2024 年 11 月 26 日作成

ver.5

研究課題名	免疫複合体抗原の網羅的解析による精神・神経疾患の疾患特異的な免疫反応点の探索
所属（診療科等）	長崎大学病院薬剤部
研究責任者(職名)	大山 要（教授）
共同研究機関	長崎大学病院薬剤部（代表施設） 氏名：大山 要 島根大学医学部膠原病内科講座 氏名：一瀬邦弘 熊本大学医学部附属病院神経精神医学講座 氏名：竹林 実 広島大学病院精神科 氏名：大盛 航 国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター臨床研究部 氏名：岡田麻実 国際医療福祉大学臨床医学研究分野 氏名：竹内英之 長崎北病院神経内科 氏名：佐藤 聡
研究期間	2019 年 5 月 21 日～2027 年 3 月 31 日
研究目的と意義	パーキンソン病や統合失調症などの神経・脳疾患では、脳での免疫的な異常が病気の原因として注目されています。しかし、どのような免疫異常が脳でおき、疾患ごとにどう異なるかわかっていません。こうした点がわかれば、有効な治療法の開発につながります。この研究では、血液と脳脊髄液を使って脳以外と脳内でどんな免疫反応がおきているかを調べます。
研究内容	●対象となる患者さん ギランバレー症候群、先天性筋ジストロフィー、多発筋炎、皮膚筋炎、免疫介在性壊死性ミオパチー、封入体筋炎、重症筋無力症、自己免疫性脳炎、ウイルス性髄膜炎、統合失調症、急性一過性精神病性障害、気分障害、アルツハイマー型認知症、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、パーキンソン病、パーキンソニズム疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症）、多系統萎縮症（シャイ・ドレーガー症候群、オリブ橋小脳変性症、線条体黒質変性症）、神経精神ループス、神経ベーチェット病、神経スイート病、多発性硬化症、視神経脊髄炎、橋本脳症、筋萎縮性側索硬化症、正常圧水頭症、ナルコレプシーの患者さんで、2000 年 1 月 1 日から、2019 年 5 月 30 日の間に、上記の治療（検査）を受けた方を対象とします。

	●利用する情報／試料 血清、脳脊髄液、性別、生年月日、疾患名、合併症、前治療、喫煙の有無、統合失調症については陽性・陰性症状・認知機能障害の有無と NMDA 抗体ならびに VGKC 検査の結果、パーキンソン病については睡眠障害や非運動症状、HLA タイプ、投与薬剤（治療開始 3・6・12 カ月後）、治療効果（治療開始 3・6・12 カ月後）、白血球数、CRP 本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。
問い合わせ先	●研究方法 各試料中の免疫複合体を解析し、各疾患それぞれで特異的・特徴的に検出される抗原タンパク質を脳脊髄液と血清から特定します。また、代謝物と脂質も合わせて測定し、タンパク質の確かさを確認します。 【研究担当者】 氏名：大山 要（薬剤師） 長崎大学病院薬剤部 住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095-819-7245 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095-819-7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）